

主催
日仏教育学会

共催
日仏会館

後援
日本キャリア教育学会
日本産業教育学会

日仏学術研究公開シンポジウム 若者のキャリア形成支援の 課題と展望 —日仏比較の視点から—

日時 | 2018年10月24日 (水)
18:00～20:30

会場 | 日仏会館ホール (東京都渋谷区恵比寿3-9-25)

事前申込は必要ありません。直接会場にお越しください。参加費は無料です。

第1部 基調講演 (18:00～18:50)

「進路指導員から青年期問題・教育・進路相談を専門とする〈国民教育〉心理士へ
—フランスにおけるキャリア・カウンセラーの職務の変遷に関する歴史と現状—」

シルヴィ・アミシ
(フランスキャリア・カウンセラー協会会長)
日本語通訳あり



第2部 パネルディスカッション (18:50～20:30)

「若者のキャリア形成支援の課題と展望—日仏比較の視点から—」

パネリスト:

藤田廣志(東海ライフキャリア代表・キャリアコンサルティング技能士会副代表幹事)

大前敦巳(上越教育大学・日仏教育学会事務局長)

指定討論者:

本間啓二(日本体育大学・日本キャリア教育学会キャリア・カウンセラー資格認定委員長)

コーディネーター:

京免徹雄(愛知教育大学)

【趣旨】

日本では、2010年の大学設置基準改正によって、「社会的・職業的自立を
図るために必要な能力」の育成が義務づけられたことで、多くの大学でキャ
リア教育が推進されるようになりましたが、担当者やカリキュラムの面で課題も散
見されます。さらに、2016年4月から職業選択や能力開発に関する相談・助言
を行う専門家として「キャリアコンサルタント」制度が法定化されましたが、社会
人の支援が中心であり、学校教育に対する介入は進んでいません。

一方のフランスにおいては、キャリア・カウンセラーの資格化は戦前に遡る
歴史をもち、特に大学を含む学校教育に対しては国家公務員のカウンセラー
が介入し、教員と連携することで若者のキャリア教育を展開してきました。さら
に、2017年には「〈国民教育〉心理士」(Psychologue de l'éducation
nationale)という新たな資格を創設し、支援体制を強化しています。しかしな
がら、職業資格の価値下落や非正規雇用の増加などによって若者の就職状
況は厳しく、15歳～24歳の失業率は日本の約3倍に達している状況です。

そこで、本シンポジウムでは、上記の「国民教育心理士」の制度改革にも携
わったフランスキャリア・カウンセラー協会(l'association des conseillers et
conseillères d'orientation-psychologues de France)のシルヴィ・アミシ
(Sylvie AMICI)氏を招聘し、大学生および若年労働者のキャリア形成支援
の課題と展望について議論します。特に日仏の現状を比較することで、予測
不可能な社会を生き抜くために若者にどのような力を発達させる必要がある
のか、またそのために専門職(キャリア・カウンセラー)がいかなる役割を果た
していくべきか検討したいと思います。

会場アクセス



本シンポジウムは、日仏会館「2018年度日仏学術研究助成」を受けています。